

国土数值情報（空港）

製品仕様書

第 1.0 版

平成 18 年 3 月

国土交通省国土計画局

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	5
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	6
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ.....	7
4.1.4 国土骨格パッケージ.....	10
4.1.5 空港パッケージ.....	11
4.1.6 共通パッケージ.....	17
4.2 空間スキーマプロファイル.....	18
4.3 時間スキーマプロファイル.....	18
5 参照系.....	19
5.1 座標参照系.....	19
5.2 時間参照系.....	19
6 データ品質.....	20
7 データ製品配布.....	22
7.1 配布書式情報.....	22
7.2 配布媒体情報.....	22
8 メタデータ.....	23

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（空港）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：平成 18 年 3 月
- 作成者：国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室
- 言語：日本語
- 分野：運輸
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築することを目的とする。

なお、本製品仕様書の利用者は、国土数値情報データの作成者、及び従来の国土数値情報を地理情報標準プロファイルのデータ形式に変換するデータ作成者をおもな対象としている。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
 - 日本全国
- 時間範囲
 - 1975 年（昭和 50 年）～2006 年（平成 18 年）

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 平成 17 年 3 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版「附属書 5 (規定) 定義」

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（空港）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（空港）データ

■ 日付

平成 18 年 3 月 24 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

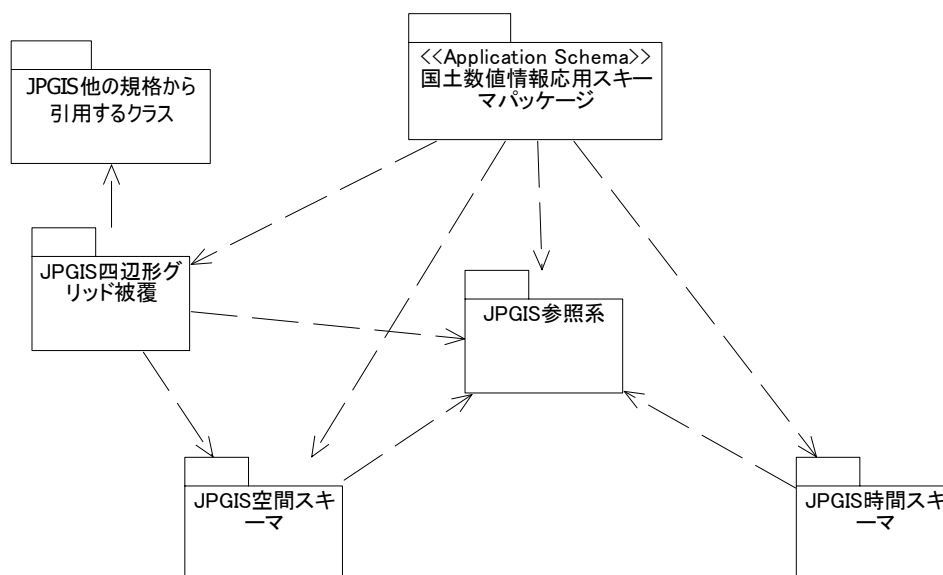
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

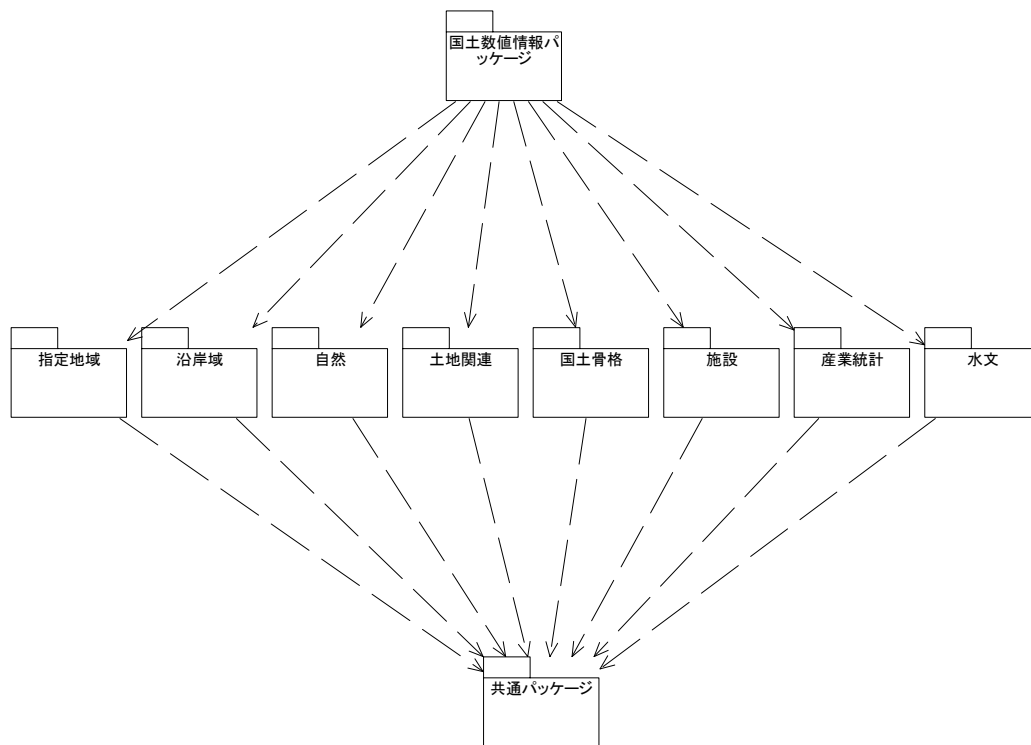
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

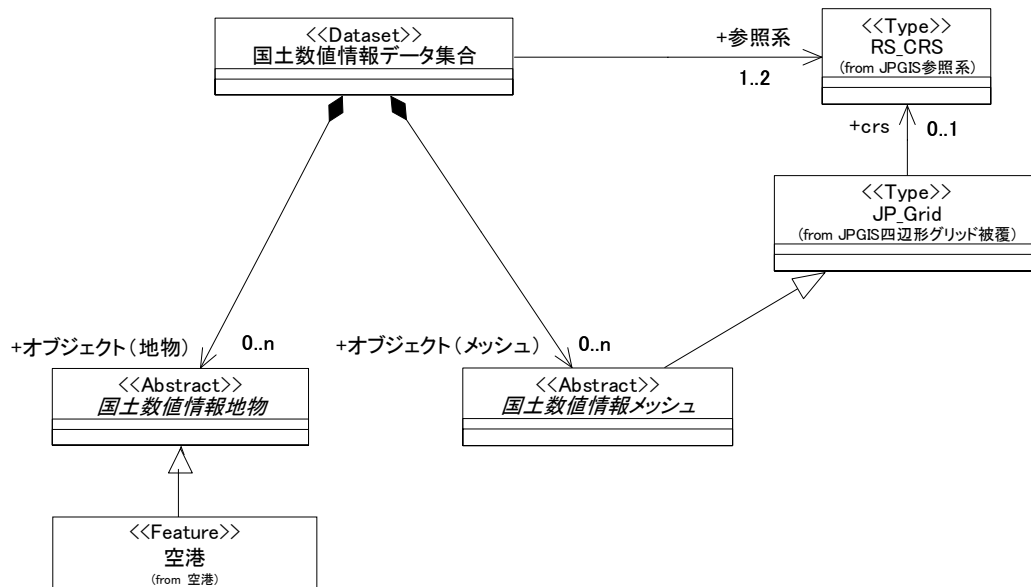
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

国土数値情報メッシュ

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

上位クラス：JP_Grid

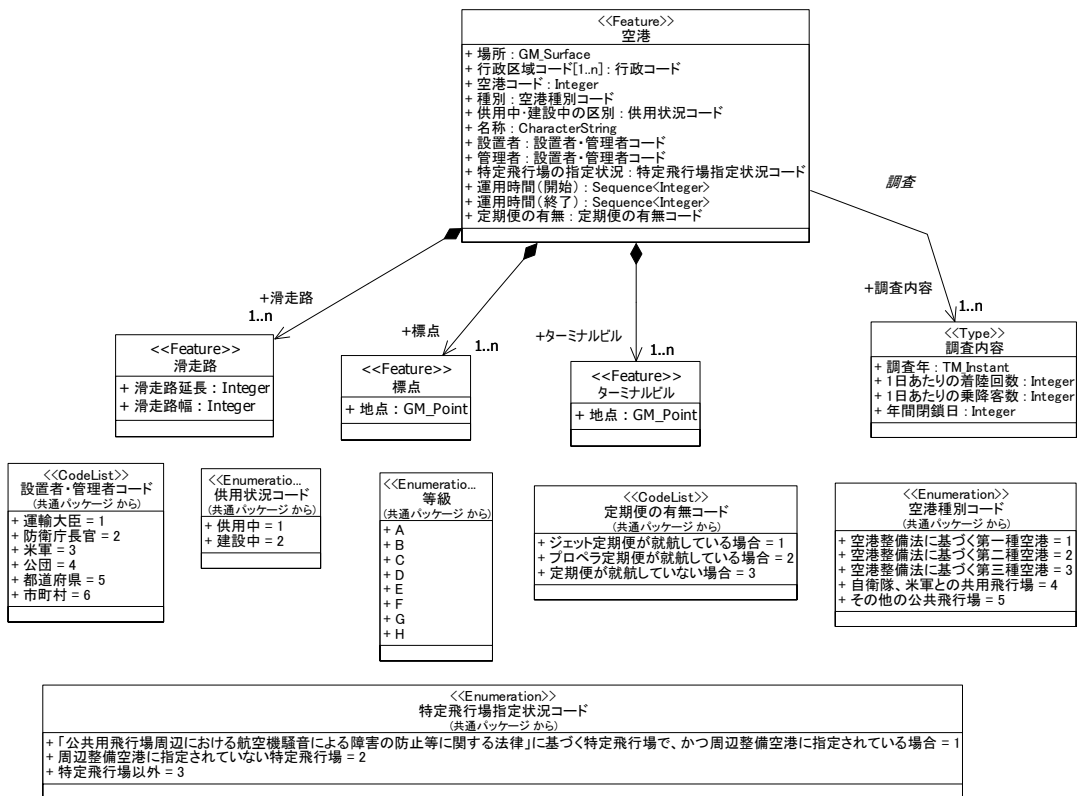
抽象/具象区分：抽象

4.1.4 国土骨格パッケージ



4.1.5 空港パッケージ

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

空港

□ 参考

原資料：都道府県資料、建設省資料、営林局資料

上位クラス：国土数値情報地物

抽象/具象区分：具象

属性

場所：GM_Surface

空港区域の位置。

行政区域コード[1..n]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる、行政区を特定するためのコード。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

空港コード：Integer

種別：空港種別コード

空港の種類による区別。

■ 定義域

1、2、3、4、5のいずれか。

1～5は以下を参照。

コード	対応する内容
1	空港整備法に基づく第一種空港
2	空港整備法に基づく第二種空港
3	空港整備法に基づく第三種空港
4	自衛隊、米軍との共用飛行場
5	その他の公共飛行場

供用中・建設中の区別：供用状況コード

空港が供用されているか建設中かの区別。

■ 定義域

1、2のいずれか。

1～2は以下を参照。

コード	対応する内容
1	供用中
2	建設中

名称：CharacterString

空港の呼称。

設置者：設置者・管理者コード

空港を設立した組織。

■ 定義域

「設置者・管理者コード」がとりうる値。

➤ 参考：コードリスト「設置者・管理者コード」の内容

コード	対応する内容
1	運輸大臣
2	防衛庁長官
3	米軍
4	公団
5	都道府県
6	市町村

管理者：設置者・管理者コード

空港を管理している組織。

■ 定義域

「設置者・管理者コード」がとりうる値。

➤ 参考：コードリスト「設置者・管理者コード」の内容

コード	対応する内容
1	運輸大臣
2	防衛庁長官
3	米軍
4	公団
5	都道府県

6	市町村
---	-----

特定飛行場の指定状況：特定飛行場指定状況コード

法律などによって特定の指定を受けているかどうかの区別。

■ 定義域

1、2、3のいずれか。

1～3は以下を参照。

コード	対応する内容
1	「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく特定飛行場で、かつ周辺整備空港に指定されている場合
2	周辺整備空港に指定されていない特定飛行場
3	特定飛行場以外

運用時間（開始）：Sequence<Integer>

1日のうちで、空港の運用が開始する時刻。

■ 定義域

「時」、「分」とともに、1桁または2桁の整数で記述し、時と分の間はスペース区切りとする。

記述例) 7時30分の場合 7 30 と記す。

記述例) 0時0 分の場合 0 0 と記す。

(運用時間が24時間の場合、開始時刻は0時0分とする)

運用時間（終了）：Sequence<Integer>

1日のうちで、空港の運用が終了する時刻。

■ 定義域

「時」、「分」とともに、1桁または2桁の整数で記述し、時と分の間はスペース区切りとする。

例) 21時30分の場合 21 30 と記す。

例) 24時0 分の場合 24 0 と記す。

(運用時間が24時間の場合、終了時刻は24時0分とする)

定期便の有無：定期便の有無コード

当該空港に定期便があるかどうかの区別。

■ 定義域

「定期便の有無コード」がとりうる値。

➤ 参考：コードリスト「定期便の有無コード」の内容

コード	対応する内容
1	ジェット定期便が就航している場合
2	プロペラ定期便が就航している場合
3	定期便が就航していない場合

関連役割

ターミナルビル[1..n]：ターミナルビル

当該空港に存在するターミナルビル。

標点[1..n]：標点

当該空港に存在する標点。

滑走路[1..n]：滑走路

当該空港に存在する滑走路。

調査内容[1..n]：調査内容

1日当たり着陸回数や乗降客数など、当該空港について行われる毎年の調査の内容。

ターミナルビル

抽象/具象区分 : 具象

属性：

地点[1..n]：GM_Point

ターミナルビルの位置。

標点

抽象/具象区分 : 具象

属性：

地点：GM_Point

標点の位置。

滑走路

抽象/具象区分：具象

属性：

滑走路延長：Integer

滑走路の長さ。

単位は「m」とする。

滑走路幅：Integer

滑走路の幅。

単位は「m」とする。

調査内容

抽象/具象区分：具象

属性：

調査年：TM_Instant

調査を行った時期。

■ 定義域

昭和や平成などの元号で、「年」のみを記す。

1日あたりの着陸回数：Integer

1日あたりの乗降客数：Integer

年間閉鎖日：Integer

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

なお、空港パッケージで使用するコードリストは以下である。

- ・ 行政コード
- ・ 設置者・管理者コード
- ・ 定期便の有無コード

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合中の過剰データがないか。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。 データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、過剰を評価する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合からのデータの欠落がないか。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。 データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、洩れを評価する。ただし、データ変換時に変換エラーのため欠落したデータについては、評価の対象としない。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	応用スキーマで決められた地物を逸脱した地物がないか、また、地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラム（XML パーサなど）によって、XML Schema とデータ集合に矛盾がないか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が決められた定義域の中にあるか。空間属性及び時間属性は、それぞれ規定された範囲にあるか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラムによって、主題属性の定義域及び地物の地理的範囲、時間的範囲が定義域の中にあるか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合のファイル形式が XML の仕様に適合しているか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラム (XML パーサなど) によって、データ集合のファイル仕様が XML の文法に適合しているか、評価する。
適合品質水準	100%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報の符号化のためのタグ一覧及び符号化仕様は、「別冊 符号化仕様」を参照されたい。

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0を採用する。